

原子力産業セミナー2022 報告

2020年11月25日
(一社)日本原子力産業協会

原産協会は関西原子力懇談会と共催で、原子力産業界の人材確保支援と原子力産業への理解促進のため、合同企業説明会「原子力産業セミナー2022」を、10月31日(土)に東京・新宿、10月10日(土)に大阪・梅田で開催した。東京と大阪両会場に会場に来場した学生は合計439人(東京246人、大阪193人)で、昨年度より184人増(+72%)となった。

新型コロナウイルス感染が広がる中、人材需給の緩みで学生の就活への関心が高まっていること、対面式の就活セミナーが激減していること、開催時期を昨年度の2月から10月へと大幅に前倒ししたことなどが増加の要因と考えている。

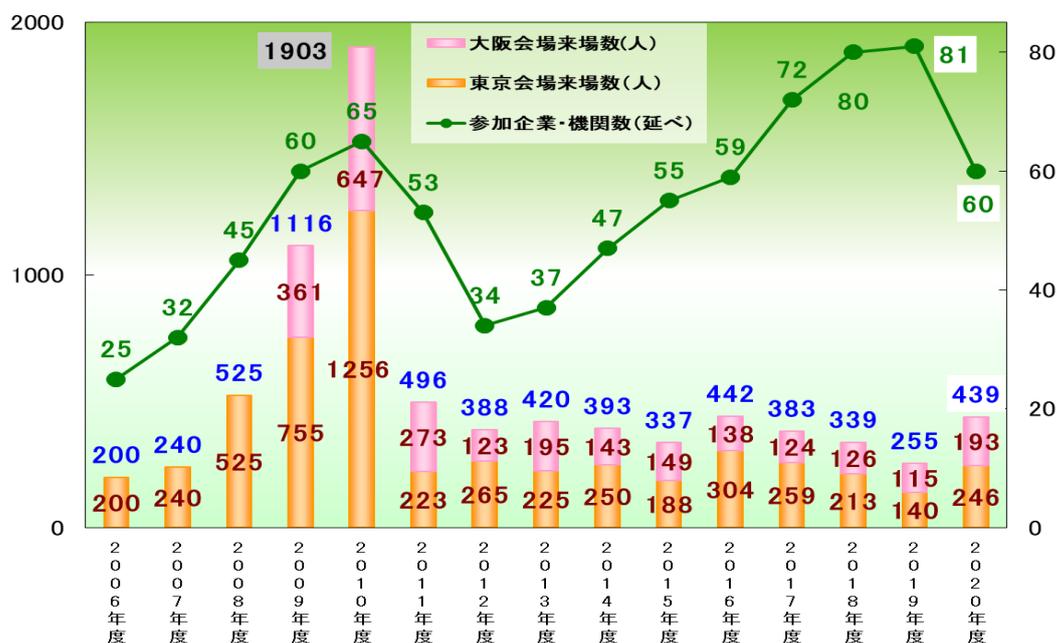
一方、出展企業・機関数は東京・大阪合わせて60社となり、昨年度より21社減となった。コロナ感染拡大による経済低迷で新規採用に慎重な企業が増えていること、感染防止のために対面式のセミナーを避ける企業があることなどが要因と考えられる。本セミナーにおいても、出展企業は対面式かWeb方式を選択できるように配慮した。

1. 概要

()内の数字は昨年度

	東京会場	大阪会場	
開催日	2020年10月31日(土)	2020年10月10日(土)	
開催場所	新宿Lタワー・サンスカイルーム	梅田スカイビルアウラホール	合計
来場学生数	246人(140人)	193人(115人)	439人(255人)
参加企業・機関数	34社(45社)	26社(36社)	60社(81社)

原子力産業セミナーの来場学生数および参加企業・機関数の推移



2. 参加企業・機関一覧（*：初参加）

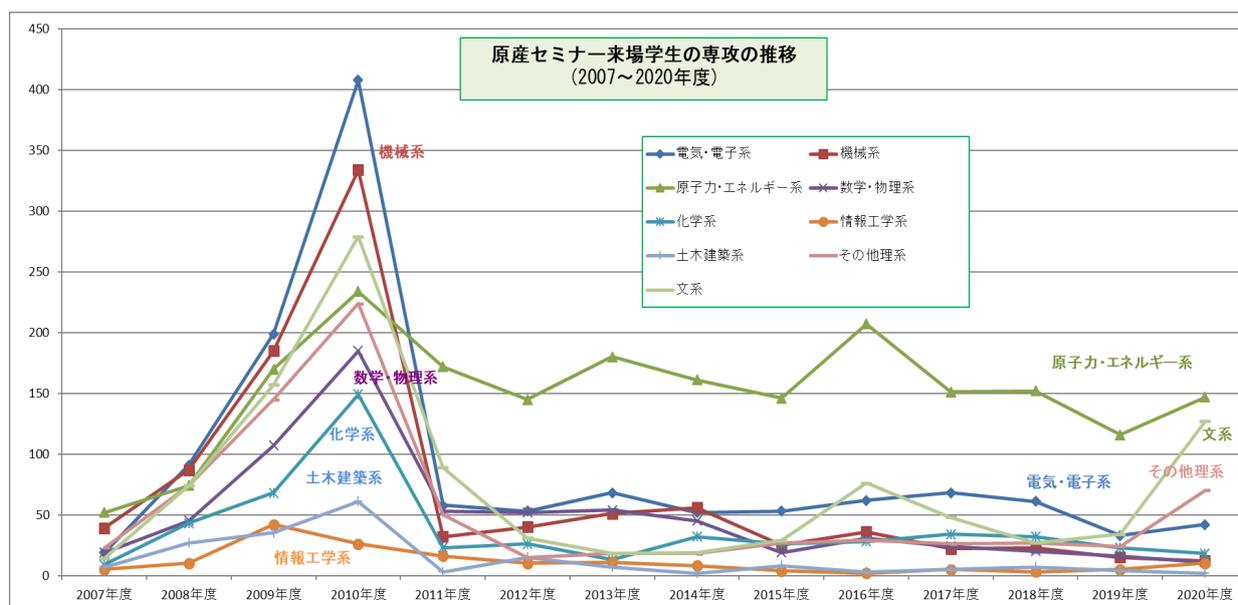
電力関連企業		東京	大阪
1	東京電力ホールディングス(株)	○	○
2	中部電力(株)	○(web)	
3	北陸電力(株)		○
4	関西電力(株)	○	○
5	J-POWER(電源開発(株))		○
6	日本原子力発電(株)	○	
7	日本原燃(株)	○	○
8	東京パワーテクノロジー(株)	○(web)	
9	東電設計(株)	○	
10	(株) テプコシステムズ	○	○
11	原電エンジニアリング(株)	○	○(web)
12	原燃輸送(株)	○	
13	(株) 関電パワーテック		○
14	関電プラント(株)	○	○
重電メーカー			
15	(株) 日立製作所	○(web)	○(web)
16	(株) 東芝(東芝エネルギーシステムズ(株))	○	
17	富士電機(株)	○(web)	○(web)
プラント・エンジニアリング企業等			
18	(株) アトックス	○	○
19	MHINSエンジニアリング(株)	○(web)	○
20	(株) オー・シー・エル		○
21	(株) 関電工*	○	
22	(株) ケーイーシー	○	
23	原子燃料工業(株)		○
24	(株) 原子力エンジニアリング		○
25	新日本空調(株)	○	
26	セイコー・イージーアンドジー(株)	○	
27	太平電業(株)		○(web)
28	(株) 千代田テクノル	○	○
29	(株) TVE*(東亜バルブエンジニアリング(株))		○
30	(株) 東京エネシス	○(web)	○(web)
31	東芝プラントシステム(株)	○	
32	(株) 日本環境調査研究所	○	
33	日本原子力防護システム(株)	○	
34	(株) NESI	○	○
35	(株) 日立プラントコンストラクション	○	○
公益、独立行政・研究法人			
36	(公財) 核物質管理センター	○	○
37	(一社) 原子力安全推進協会	○	
38	原子力規制委員会 原子力規制庁	○	○
39	原子力人材育成・確保協議会	○	
40	原子力発電環境整備機構	○	○
41	(国研) 日本原子力研究開発機構	○(web)	○(web)
42	(公社) 日本アイソトープ協会	○	
		34	26

3. 原子力産業セミナー2022の主な特徴と来場学生のプロフィール

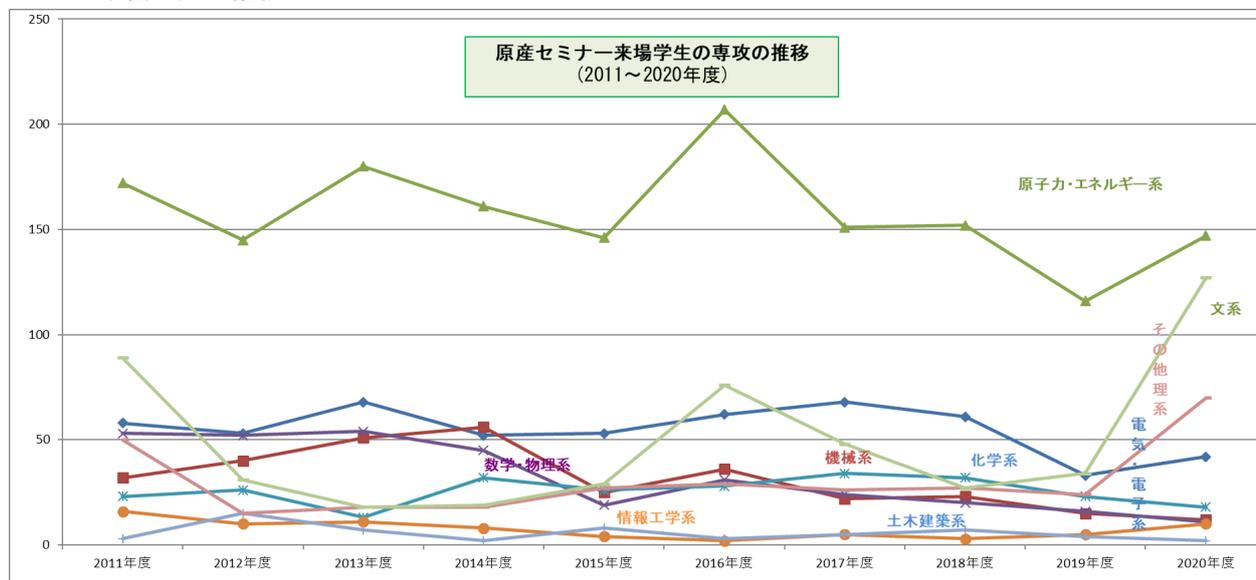
東京・大阪の両会場に来場した学生のプロフィールは以下の通り。

- ・ 会員企業のニーズを踏まえ、理系学生を中心に集客を行ったが、文系学生も多く来場したため、東京・大阪会場の理系比率は71%（昨年度は87%）となった。また企業から人気の高い第二新卒（既卒）は13名の参加（昨年度0）。
- ・ 女性来場者の割合は24%で、昨年度（19%）から増加。

暦年での学生の専攻（人数）の推移は以下の通り。



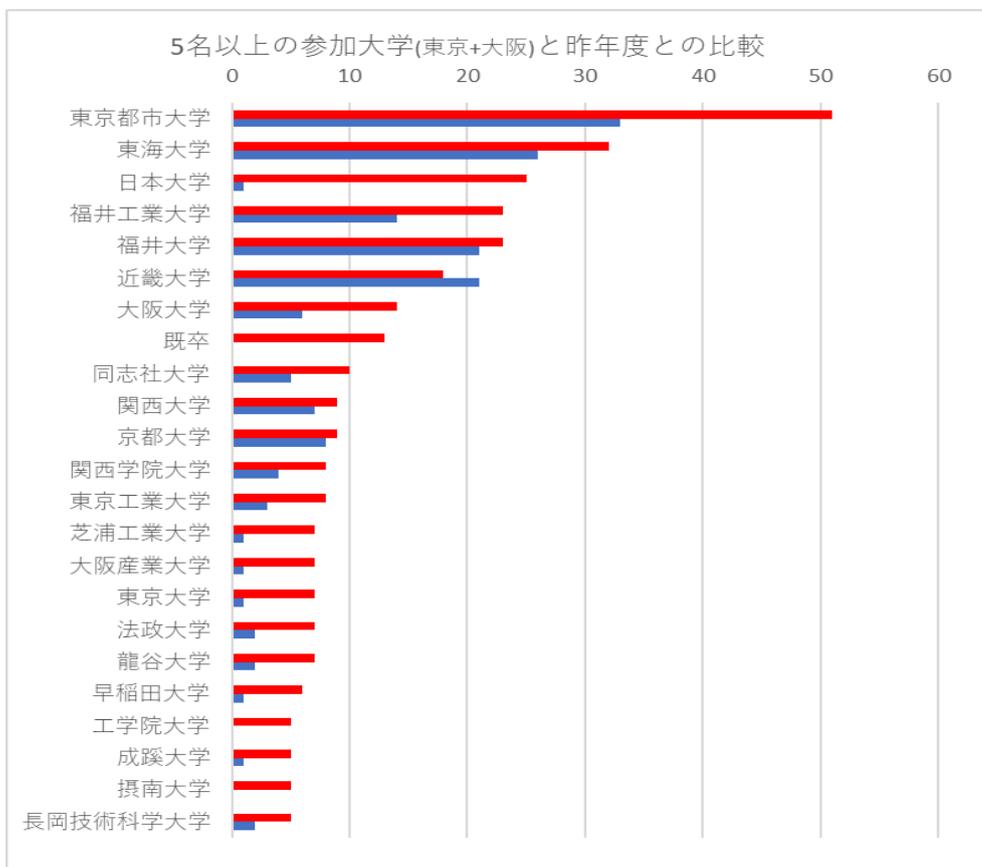
(2011年度以降の推移)



*学科の大括り化のため、原子力系の一部は電気・電子系としてカウントされている。また文理融合学科や環境学科等の従来なかった理系学科は「その他理系」にカウントしている。

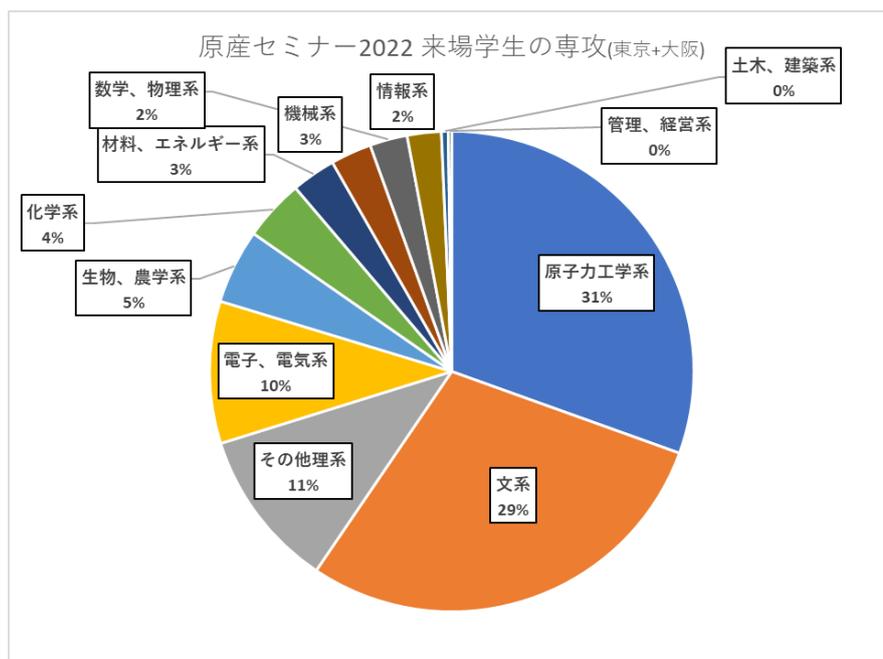
4. 来場した学生の所属校（グラフは東京+大阪で今年度5名以上の参加校のみ）

東京、大阪の両会場には102校の大学等（昨年度65校）から439名（昨年度255名）の学生・既卒が来場した（5名以上参加校。赤は今年度、青は昨年度）。最多は東京都市大、次いで東海大学、日本大学、福井工業大学、福井大学、近畿大学、大阪大学だった。



5. 学生の専攻

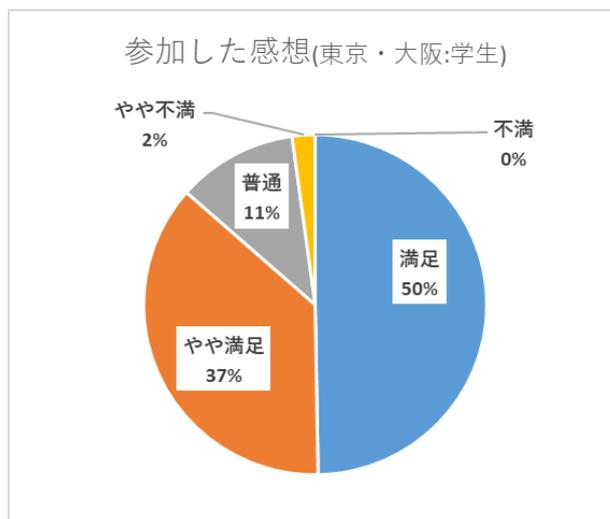
今年度、東京・大阪会場に来場した学生の専攻の割合は以下の通り。



*学科の大括り化のため、原子力系の一部は電気・電子系としてカウントされている。

6. 来場学生の動向と満足度

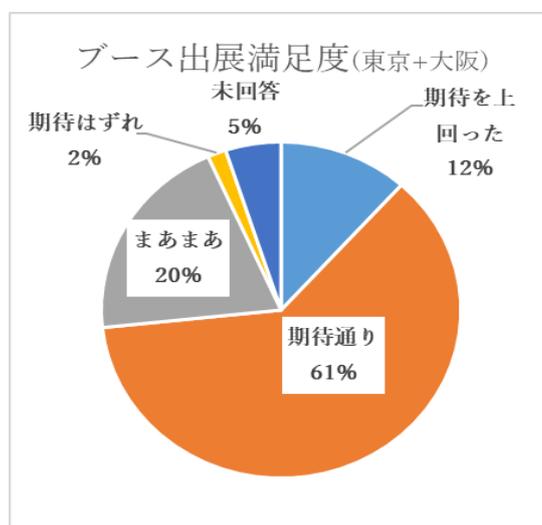
来場学生の満足度は比較的高くなっている。東京と大阪の合計では「満足」50%、「やや満足」37%、合わせると87%となっている（昨年度95%）。



7. 出展企業の満足度と開催時期への感想

出展企業・団体の満足度（東京+大阪会場）は以下の通り。

「期待を上回った」が12%（昨年度2%）、「期待通り」61%（昨年度33%）、「まあまあ」20%（昨年度46%）、「期待外れ」2%（昨年度15%）、その他・未記入が5%（昨年度4%）。「まあまあ」以上の評価は93%で（昨年度81%）、昨年度を大きく上回り好評だった。



8. 参加学生の主な感想

・オフラインでのイベントは少ないので、有難いです。またこのようなものがあったら参加したい。コロナの影響で、企業のインターンや説明会が中止になるなか、実際に担当者とお話出来る貴重な機会となりました。（大阪）

・BtoBの企業など沢山の企業が参加されておりとてもいい機会でした。とても有意義な時間になった。たくさんの企業の中から自身のやりたいことが決められるいい機会になりました。（大阪多数）

- ・今年新型コロナウイルスの影響で中々企業の方々と直接話し合える機会がなかったため、今回の原子力産業セミナーは自分の就職活動にとって、とてもためになりました。(大阪)
- ・感染予防対策も徹底していてとても良かった。(大阪)(東京)
- ・原子力への風当たりが強い中、原子力系企業を志望する私にとって大変ありがたいものでした。ぜひ、来年以降も続けて頂きたい。(大阪)
- ・バスも用意していただき、会場内の感染対策が十分に確保されていたため、安心して参加することができました。(大阪)
- ・Web開催などでも良いので、就活開始前程度を目安に、もう一度、セミナーを開催して欲しいです。(東京)
- ・県外のかたが参加しやすいように、zoomを使った配信もして欲しいです。(東京)
- ・今回のセミナーが無かったら原子力に触れる機会がなかったと思います。貴重な企画をありがとうございました。(東京)

9. 参加企業・団体の主な感想

学生への印象

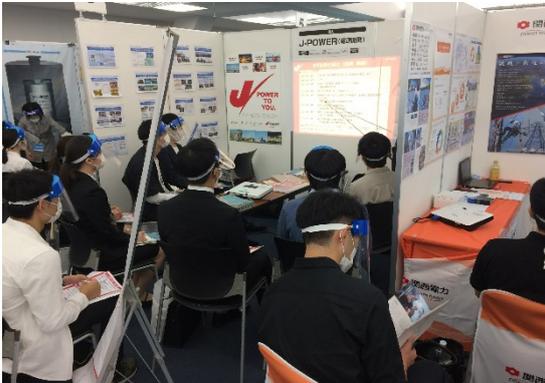
- ・前回と比べて訪問人数が倍以上。例年より反響が大きい。(大阪)
- ・原子力専攻学生が多く、手ごたえを感じよかった。先輩から話を聞いて興味を持ってきている学生が多い。(大阪)
- ・熱意・積極性のある学生が多かった。理系学生の中でも公益性の高い仕事に興味のある人との目が絞れているためかもしれません。(大阪)(東京)
- ・今後のインターンに期待したい。(東京)
- ・今年はWeb方式のため、例年と比較してブース訪問の学生が少なかった。(大阪)。
- ・女性が来訪者の半分程度で参加目的に近づいた。(東京)
- ・例年より開催時期が早いため、学生はまだ志望業種、職種を絞る前段階、まだ企業分析初期であったように感じました。(東京)
- ・年明け(1月または2月)にも同イベントが開催させるようであれば是非参加したい。(大阪)

10. マスコミの取材ぶり

- ・大阪会場では、電気新聞1社が取材した。
- ・東京会場では、共同通信、日本経済新聞、毎日新聞、電気新聞、週間ダイヤモンド、原子力産業新聞、フリーランス記者の合計7記者が当日取材を行った。

11. 写真

<大阪会場>



ブースで説明を聞く学生の皆さん



パーティション越しに出展者と対話

<東京会場>



Web 出展者にも多くの学生が参加



Web 出展者には専任のスタッフがアシスト

以上